

Feng-Shui Gallery

special edition vol.76

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『空間ごとに考える色彩の働き』 ～リビング・ダイニング編～



<3>



<2>

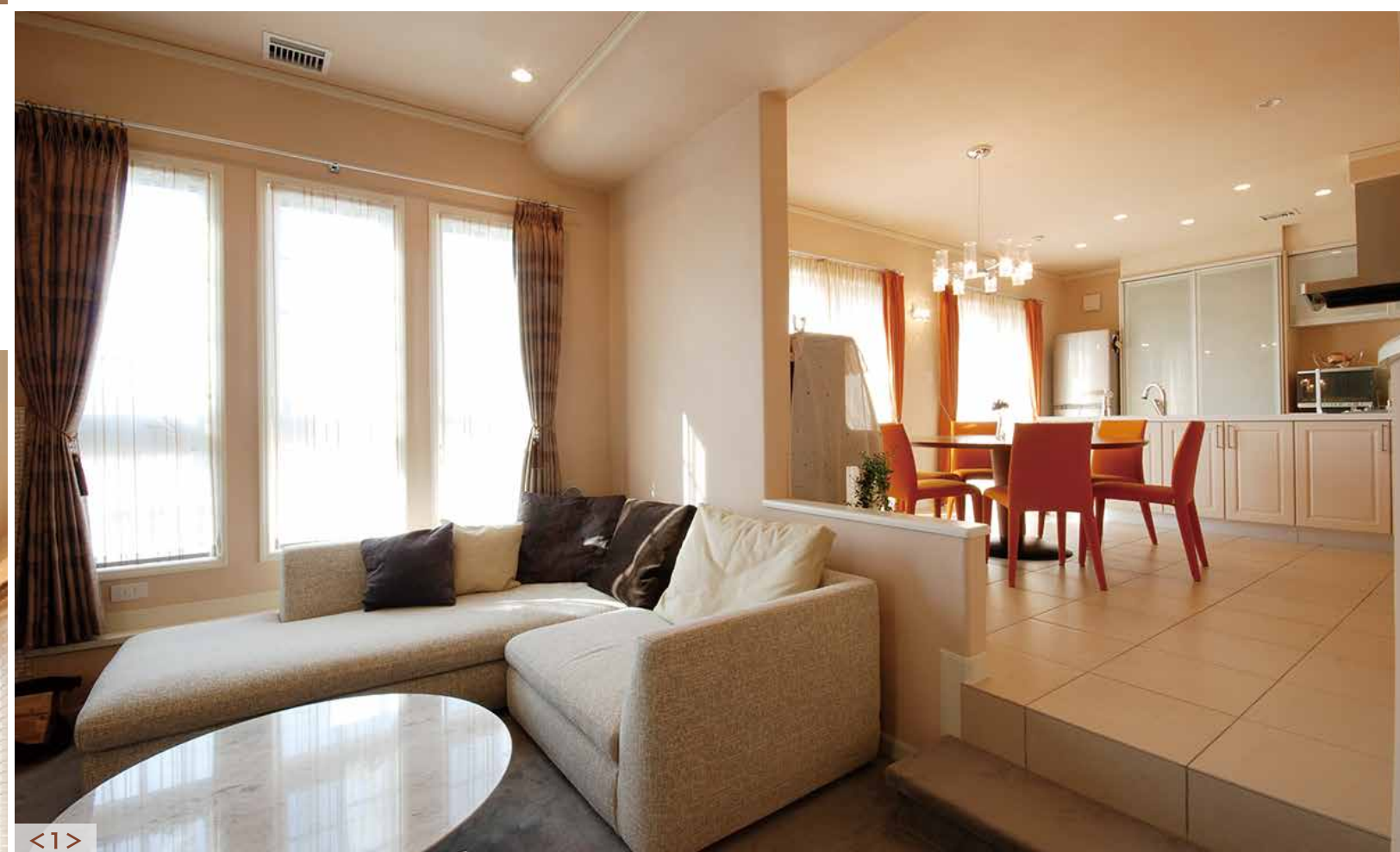
【写真1】落ち着いた色彩のリビングと、オレンジ色をアクセントカラーに用いたダイニング空間。リビングとダイニングは近い方が氣の流れが良くなるので、家具やカーテンなどの小物をアクセントカラーを用い、それぞれの空間に合った色彩を選定すると良いでしょう。【写真2】風水では、食事を摂るときの室内環境も、情報として体内に取り込まれると考えています。赤やオレンジなどの、エネルギーを高める色彩をダイニングルームのアクセントカラーに用いることは、家族団樂の雰囲気高めると共に、色彩情報を体内に取り込むという観点からもとても大切になります。【写真3】温もりを感じる暖色系の色彩で構成されたリビング空間。リラックスする為には、冷たさを感じさせるような色彩は大敵です。また床材にカーペットやラグマットを敷くことで、柔らかな感触がリラックス効果を高めてくれます。【写真4・5】濃い色彩は、空間に重厚感を与え、その色彩情報は強くなります。床・壁・天井、また家具やカーテンなど、どれか一部だけが濃い色彩だと空間のバランスが崩れ、不自然な色彩情報として脳にインプットされてしまう為、空間のトーン(色の明度と彩度)を合わせることは重要です。例えば写真5のように濃い色のフローリングを採用する場合は、壁や家具などのトーンを合わせることで整った空間に作り上げることが可能です。



<5>



<4>



<1>

**リビングは「寛ぎ」、ダイニングは「団樂」
それぞれの目的に合った色彩で空間を構成し
家具やカーテンなどにアクセントカラーを採用する**

リビング・ダイニング空間は、家族と一緒に過ごす大切な空間です。
リラックスできるリビング空間、団樂できるダイニング空間にする為に
色彩はとても大切な要素となります。

良い氣が流れ、整った空間にする為に、目的に応じた色彩を選定することが大切です。